

都市再生整備計画 事後評価シート

庄原地区

令和 3年 8月

広島県庄原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	庄原市		地区名	庄原地区		面積	218ha		
交付期間	平成27年～令和2年		事後評価実施時期	令和3年		交付対象事業費	362百万円		国費率	40%		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前ポケットパーク、駅前駐車場)、高質空間形成施設(庄原川手線、本町三日市線、駅前広場、公衆トイレ)、高次都市施設(地域交流施設)									
		提案事業	地域創造支援事業(庄原駅舎改修整備)、事業活用調査(事業効果分析)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設(観光案内施設整備、子育て支援支援整備)	庄原市交通交流施設整備基本計画の策定に伴う、交通交流施設(備後庄原駅舎)内の機能配置計画の変更				「地域交流施設利用者数合計」の下方修正				
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(本町三日市線)、地域生活基盤施設(サイン整備)	・歩行者ネットワーク経路となる本町三日市線を追加 ・サイン整備は関連事業から基幹事業へ移行				影響なし				
		提案事業										
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
変更	平成27年度～令和2年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地域イベントの来場者数合計	人	9,955	H25	15,500	R2	1,620 (R2)	×	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症対策によりイベントの開催が出来ず目標値に届かなかった。	令和4年3月
	指標2	地域交流施設利用者数合計	人	113,322	H25	114,000	R2	46,186 (R2)	×	あり なし ●	H29年度は伸びが見られたが、新型コロナウイルス感染症対策により施設の休館やイベントの開催が出来ず目標値に届かなかった。	令和4年3月
指標3	公共交通利用者数合計	人	65,412	H25	66,000	R2	56,226 (R1)	×	あり なし ●	平成30年7月豪雨災害により公共交通が平成30年7月～令和元年10月まで一部不通となったため目標値には届かなかったが、公共交通の利便性や景観性が向上し、利用者の満足は得られた。	令和4年3月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	市内循環バス(ひまわりバス)の利用者数	人	29,284	H27			12,475 (R1)			路線の見直し等により減少した。	令和4年3月
その他の数値指標2	JR備後庄原駅内の地域交流室の利用日数	日	-	-			地域交流室1 40/182日 地域交流室2 119/182日 (R2)			地域交流室が本事業により整備され、庄原まちなか協議会により研究報告会や展示会が行われている。	令和4年3月	
4) 定性的な効果発現状況	「庄原まちなか協議会」を中心とし、住民のまちづくり活動が継続的に行われている。庄原まちなか協議会が任意に設置している「駅ノート」に庄原駅の利用者から整備された施設に対して利便性が向上した、居心地が良くなった等の意見が多く記載されている。											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	・地域交流施設を利用した展示会の開催 ・庄原まちなか協議会による研究報告会の開催 ・庄原まちなか協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				都市再生事業(3期)で地域住民が主体となったワークショップ等のまちづくり活動を継続して支援していく。					
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						

様式2-2 地区の概要

庄原地区(広島県庄原市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「住む人」「来る人」が安心して快適に過ごすことのできるまちづくり ・まちの機能や生活基盤を充実させた、安全・快適で賑わいの創出と交流を育むまちづくり ・中国地方を代表する交流拠点から交流人口を受けとめる都市機能の充実	地域イベントの来場者数合計	人	9,955	H25	15,500	R2	1,620	R2
	地域交流施設利用者数合計	人	113,322	H25	114,000	R2	46,186	R2
	公共交通利用者数合計	人	65,412	H25	66,000	R2	56,226	R1
	市内循環バス(ひまわりバス)の利用者数	人	29,284	H27	-	R1	12,475	R1
	JR備後庄原駅内の地域交流室の利用日数	日	-	-	-	-	地域交流室1 40/182日 地域交流室2 119/182日	R2
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 交流拠点及び防災拠点となる市民会館の改修及び耐震化を図る必要がある。 地区内には、依然として未整備の道路が存在しており、引き続き計画的に整備を行っていく必要がある。 地区内には空き家・空き店舗が存在しているためまちなか活性化に向けた取り組みを行っていく必要がある。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> まちなかに点在する公共施設の集約化を進めていき、コンパクトなまちづくりを目指し利便性を高めるとともに施設の適切な維持管理を行う。 「庄原まちなか協議会」や既存団体と連携し、住民の声を取り入れたまちづくりを継続する。 まちなかの魅力づくりに向けて、居心地がよく歩きたくなる歩行空間を創出しにぎわいのある道路空間の構築を行う。 まちなかに存在する空き家・空き店舗を活用したにぎわい創出や、空き地を利用した来街者の行動拠点となる駐車場を整備する。 地域交流センターの利用促進を高めるため道路ネットワークの強化を図るとともに、指定避難所である市民会館へ安全に避難できる道路を確保するため道路整備を引き続き行う。 							